

学校教育目標

自立（自律） ・ 協働 ・ 感謝

《めざす生徒像》

自己有用感を高めることができる

- ・失敗を恐れず挑戦し続ける
- ・自ら考え主体的に行動する
- ・豊かに学ぶことを継続する
- ・他者を受容し人間関係を大切にす
- ・自分の身は自分で守る術を身につける

信頼関係

《めざす教師像》

寄り添い成長を支えることができる

- ・生徒の失敗を許容し成長を支える
- ・一人ひとりに合わせた支援をする
- ・わかりやすい授業を探究する
- ・人権を大切にす心育てる
- ・自分や他者の命の大切さを伝える

心理的安全性

《めざす学校像》

誰にとっても安全・安心な居場所となる

- ・家庭、保護者との連絡を密にし、生徒へのサポートに対して協力が得られるようにする
- ・地域、関係機関と連携を強化し、生徒や家庭に対して必要な支援を得られるようにする
- ・地域力を最大限に活用し、地域に根付き開かれたコミュニティ・スクールをめざす
- ・防災、防犯に関する知識を身につけ、意識して生活することができる環境整備をする

【重点項目】

- 1 生徒が、様々な体験を通じて学び、成長することができる学校生活となるようサポートする
- 2 全職員が、全ての生徒について共通理解を図り、個々にあった支援を行うようにする
- 3 職員が、心身ともに充実し生徒たちといきいきと接することができるようにする

【具体的な取組】

- 1 近隣の小学校、支援学校と連携をして児童生徒同士の交流をさらに促進することで、生徒たちが自分の存在意義を見出し自己有用感を高めることができるような場を提供する
- 2 「生徒指導」の在り方をあらため、個々の状況に合わせた「生徒支援」に重点をおき、全職員が生徒個々に対して適切な支援を行うために情報を共有し、支援方法の徹底を図るようにする
- 3 職員の働き方改革を推進し業務の精選・見直しを行い、職員が研修や研鑽を積む時間を十分確保することで資質・能力を高めて質の高い教育を提供し、生徒たちと良好な関係を築くようにする